



会津総合運動公園のテニスコートを人工芝に改修したことで水はけも良くなり、利用しやすくなりました

平成25年度会計の 決算を報告します

市の平成25年度の決算額が確定しました。ここでは一般会計と国民健康保険特別会計・介護保険特別会計の決算の概要と、市の財政状況についてお知らせします。

※国民健康保険と介護保険の特別会計の決算は4～5ページを参照。そのほかの特別会計の決算については、3ページ左下をご覧ください。詳しい市の財政状況は、6～7ページでお知らせします

歳出の主な事業

民生費 ▶児童手当に…20億5,141万円▶障がい者総合支援給付に…15億3,557万円▶後期高齢者医療に…15億2,729万円▶子ども医療費に…5億8,611万円▶児童健全育成事業に…1億7,198万円

総務費 ▶官民連携基盤システムの構築事業(ICT)に…1億5,215万円▶地域公共ネットワーク基盤構築事業(ICT)に…1億1,779万円

土木費 ▶会津総合運動公園テニスコートの改修に…2億9,398万円▶道路の舗装と改良に…2億2,000万円▶都市計画街路の整備に…2億1,550万円

教育費 ▶学校施設耐震化に…3億3,494万円▶鶴城小学校の建て替えに…1億2,397万円▶小中学校児童生徒の各種大会出場補助に…2,706万円

衛生費 ▶予防接種に…2億8,070万円▶電気自動車推進に…2,061万円

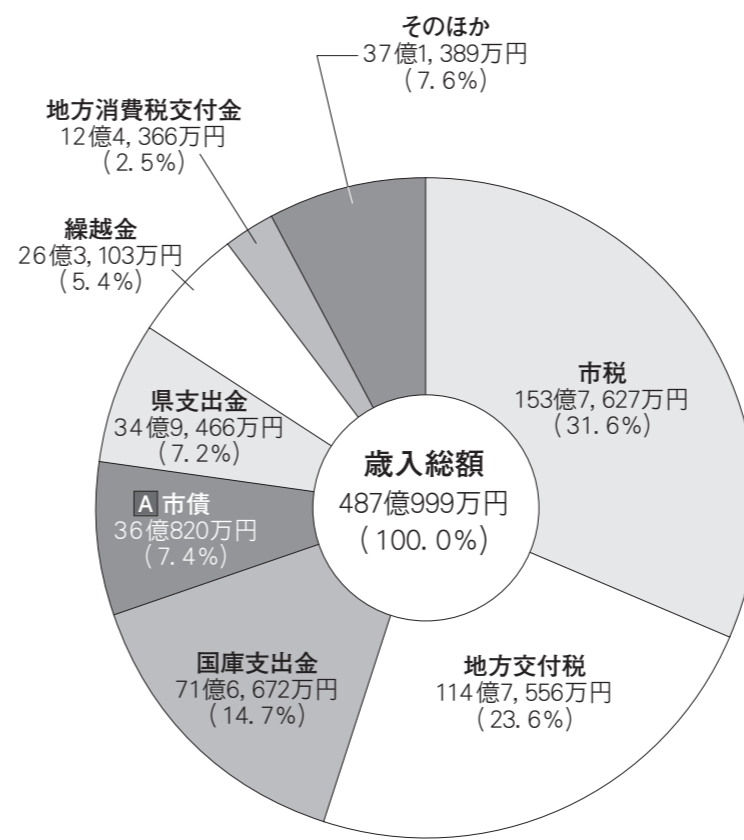
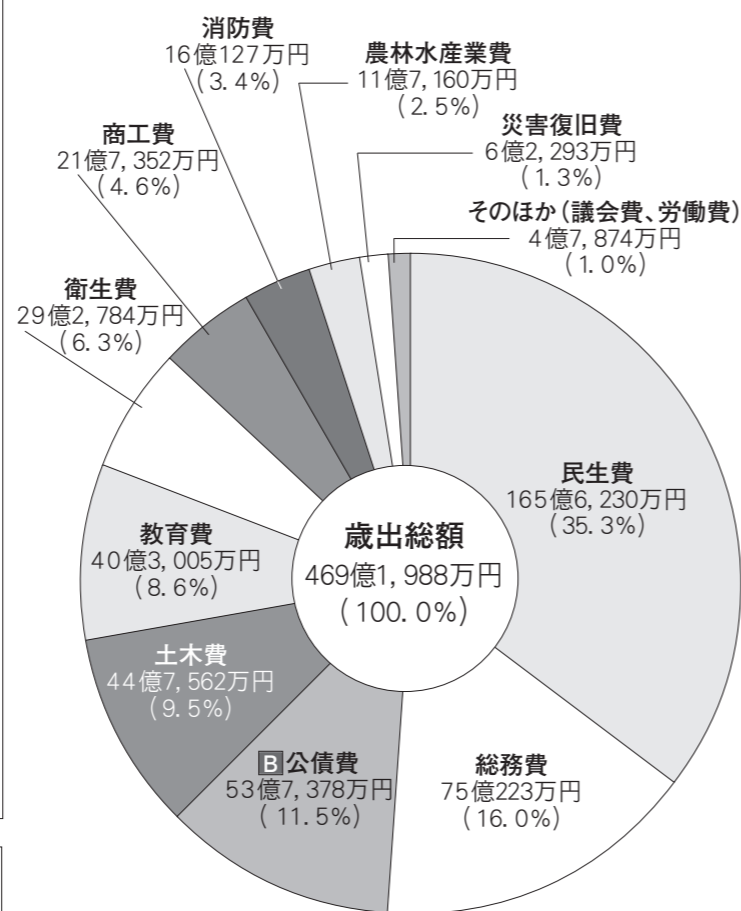
商工費 ▶観光振興に…1億8,505万円▶「八重の桜」プロジェクト事業に…1億8,234万円▶企業誘致促進に…1億7,078万円

消防費 ▶公共施設の防災機能整備に…5,331万円▶消防施設整備に…3,435万円

農林水産業費 ▶農産物の風評被害対策に…1億1,519万円▶土地改良事業に…1億2,199万円

災害復旧費 ▶雪害対策に…5億5,149万円▶道路の災害復旧に…7,144万円

平成25年度一般会計の 歳入と歳出の内訳

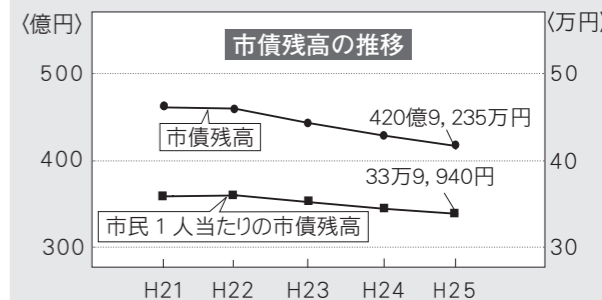


市税の内訳と割合

税目	収入済額	割合
固定資産税	74億 1,625万円	48.2%
個人市民税	52億 2,824万円	34.0%
法人市民税	12億 7,069万円	8.3%
市たばこ税	11億 1,158万円	7.2%
軽自動車税	2億 2,686万円	1.5%
入湯税	1億 2,265万円	0.8%
合計	153億 7,627万円	100%

A市債とB公債費について

その年度に借り入れるお金を「市債」、返済するお金を「公債費」と呼びます(左のグラフ参照)。市債は、大規模な建設などに充てるために借り入れられるものです。市債残高は、年々減少傾向にあり、平成25年度も減らすことができました(下のグラフ参照)。



特別会計の平成25年度決算

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険	134億3,267万円	134億1,135万円
湊町簡易水道	572万円	352万円
西田面簡易水道	1,191万円	373万円
観光施設	3億3,695万円	3億1,664万円
下水道	33億7,585万円	32億5,673万円
地方卸売市場	1億8,172万円	1億7,540万円
扇町土地区画整理	16億8,641万円	16億6,005万円
農業集落排水	4億1,102万円	4億 90万円
介護保険	101億4,086万円	99億1,919万円
個別生活排水	2億2,005万円	2億 989万円
三本松地区宅地整備	1億2,654万円	601万円
後期高齢者医療	11億6,274万円	11億5,651万円
合計	310億9,244万円	305億1,992万円

将来の負担を増やさないために
公共施設の整備や大規模な改修工事を行う場合は、その年の税金などだけでは負担が大きいため市債を発行しています。しかし、市債は返済しなければなりません。市では、将来の負担を増やさないために市債残高の低減を図るとともに、市債の返済に活用できる減債基金へ11億2千万円の積み立てを行いました。

●問い合わせ：財政課 ☎ 39-1203

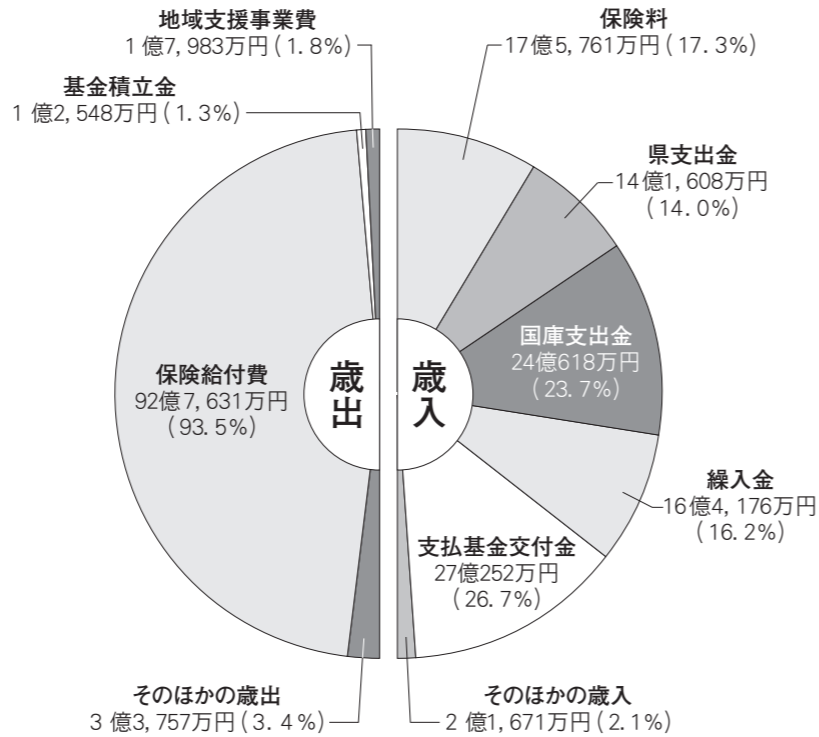
歳出
歳出では、原発事故による各種産業への風評の払しょくや放射線から健康を守るための取り組みを前年度に引き続き実施しました。また、地域の活性化を図るために、各種産業の振興や企業誘致、ICT(情報通信技術)の利活用、人材育成、子育て支援などを重点的に取り組みました。このほか、会津総合運動公園のテニスコート改修による土木費と、防災機能の強化を図るために行った

歳入
歳入の中心である市税については、企業の支店閉鎖などにより法人市民税が減少しましたが、景気回復に伴い個人市民税が増加しました。また、新・増築の家屋や企業の持つリース資産が増えたことで固定資産税が増え、前年度と比較すると全体で約3億円の増加となりました。このほか、市税収入が増加したことなどにより地方交付税は減少しました。

一般会計の決算が確定しました
一般会計は、市の通常の業務に使われる会計で、平成25年度決算の収支は約18億円の黒字になりました。前年度の決算額と比較すると、歳入が約79億円、歳出が約70億円減少しました。これは、平成24年度に行った地域給付金事業が終了したことにより、事業に伴う歳入、歳出が大幅に減少したことが主な理由です。

介護保険特別会計の 平成25年度決算の概要

▶歳出総額 99億1,919万円(100%)
▶歳入総額 101億4,086万円(100%)



年度	区分	納めるべき保険料	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
25年度	現年度分	17億7,627万円	17億5,294万円	98.7%	0円	2,597万円
	滞納繰越分	4,301万円	467万円	10.8%	1,692万円	2,141万円
	合計	18億1,928万円	17億5,761万円	96.6%	1,692万円	4,738万円
24年度	現年度分	17億2,727万円	17億593万円	98.8%	0円	2,423万円
	滞納繰越分	3,841万円	608万円	15.8%	1,352万円	1,880万円
	合計	17億6,568万円	17億1,201万円	97.0%	1,352万円	4,303万円
比較増減	現年度分	4,900万円	4,701万円	▲0.1	0円	174万円
	滞納繰越分	460万円	▲141万円	▲5.0	340万円	261万円
	合計	5,360万円	4,560万円	▲0.4	340万円	435万円

区分	24年度	25年度
75歳以上	17,504人	17,689人
65歳以上75歳未満	14,857人	15,307人
40歳以上65歳未満	42,810人	42,278人

区分	24年度	25年度
居宅介護サービス	4,607人	4,723人
施設介護サービス	1,043人	1,053人

区分	24年度	25年度
要支援1	1,259人	1,344人
要支援2	910人	909人
要介護1	1,244人	1,297人
要介護2	976人	1,007人
要介護3	747人	776人
要介護4	838人	872人
要介護5	677人	631人

グラフの用語解説

【歳入】▶国庫・県支出金…一定の基準に基づいて国や県が負担するお金 ▶繰入金…市の一般会計から一定の基準に基づいて繰り入れるお金
【歳出】▶地域支援事業費…運動教室や講座など、介護予防のための事業に使われるお金 ▶基金積立金…保険給付費などの将来の増加に備えるために積み立てるお金 ▶保険給付費…介護サービスにかかる費用や、利用者の自己負担が一定額を超えた際に支払われる高額介護サービス費など

●問い合わせ：高齢福祉課 ☎39・1244

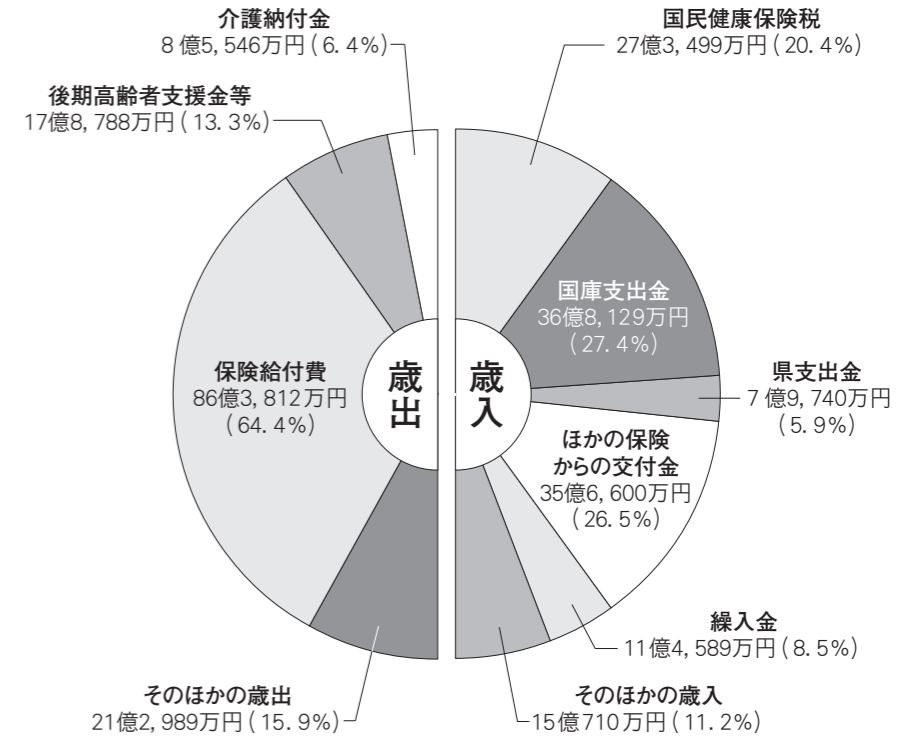
介護保険は、介護を社会全体で支え合うための保険制度です。40歳以上の人は介護保険に加入します。介護サービスを利用した人が支払うお金は、かかった費用の1割で、残りは介護保険から保険給付費として支払われます。本市では、高齢者人口の伸びと共に介護が必要な人も年々増え、加入者が介護サービスを受けるときに支払われる保険給付費も年々増加しています。

平成25年度の介護保険特別会計の歳入で最も大きな割合を占めているのは、支払基金交付金で40歳以上65歳未満の人が医療保険に上乗せして納めている介護保険分を含んだものです。65歳以上の人が納める保険料と合わせると、歳入全体の半分近くを占めています。また、歳出の約9割を占めるのは保険給付費です。

介護保険を支えているのは、皆さんの納める介護保険料です。特別な事情がないにもかかわらず保険料の滞納が続けると、介護にかかる費用をいったん全額支払わなければならなかったり、自己負担が3割になるなどの措置がとられたりします。介護保険料は忘れずに納期内に納めるようにしましょう。

国民健康保険特別会計の 平成25年度決算の概要

▶歳出総額 134億1,135万円(100%)
▶歳入総額 134億3,267万円(100%)



年度	区分	課税額	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
25年度	現年度分	27億9,944万円	25億6,991万円	91.8%	35万円	2億3,181万円
	滞納繰越分	8億5,747万円	1億6,509万円	19.3%	5,501万円	6億3,744万円
	合計	36億5,691万円	27億3,500万円	74.8%	5,536万円	8億6,925万円
24年度	現年度分	26億9,897万円	24億8,068万円	91.9%	48万円	2億2,032万円
	滞納繰越分	9億2,702万円	1億9,644万円	21.2%	8,007万円	6億5,076万円
	合計	36億2,599万円	26億7,712万円	73.8%	8,055万円	8億7,108万円
比較増減	現年度分	1億47万円	8,923万円	▲0.1	▲13万円	1,149万円
	滞納繰越分	▲6,955万円	▲3,135万円	▲1.9	▲2,506万円	▲1,332万円
	合計	3,092万円	5,788万円	1.0	▲2,519万円	▲183万円

区分	24年度	25年度	
加入状況(年間平均)	世帯数	19,923世帯	19,677世帯
	被保険者数	34,768人	33,908人
1人当たりの医療給付	医療費	291,139円	304,486円
	受診件数	15.36件	15.68件

区分	24年度	25年度
国保税	36億2,599万円	36億5,691万円
医療費	109億8,907万円	112億8,146万円
介護納付金	8億889万円	8億5,546万円
後期高齢者支援金等	17億3,887万円	17億8,788万円
保険給付費	84億4,131万円	86億3,812万円

グラフの用語解説

【歳入】▶国庫・県支出金…一定の基準に基づいて国や県が医療費の一部を負担するお金 ▶ほかの保険からの交付金…退職被保険者の自己負担額以外の医療費などを社会保険などが負担するお金 ▶繰入金…市の一般会計から一定の基準に基づいて繰り入れるお金
【歳出】▶介護納付金…介護保険制度を支えるために国保が負担するお金 ▶後期高齢者支援金等…75歳以上の(一定の障がいのある人は65歳以上)が対象となる後期高齢者医療制度を支えるために、国保が負担するお金 ▶保険給付費…国保加入者が病院などで支払う自己負担額以外の医療費や出産一時金、葬祭費など

●問い合わせ：国保年金課 ☎39・1244

医療費が増えると皆さんの負担も大きくなります。医療費を抑えるためにも、特定健康診査を受けて生活習慣病の早期発見や予防をしましょう。また、ジェネリック医薬品を利用すれば自己負担も抑えられます。医師に相談しながら、ジェネリック医薬品に切り替えてみませんか。

医療費が増えると皆さんの負担も大きくなります。医療費を抑えるためにも、特定健康診査を受けて生活習慣病の早期発見や予防をしましょう。また、ジェネリック医薬品を利用すれば自己負担も抑えられます。医師に相談しながら、ジェネリック医薬品に切り替えてみませんか。

※ジェネリック医薬品…新薬の特許が切れた後、それと同等の有効成分・効果を持つと認められた医薬品。後発医薬品ともいわれる